

9:30~10:20 教育講演 1

「新潟市における地域連携・多職種協働」

座長：成瀬 聡（総合リハビリテーションセンター・みどり病院）

演者：佐野 英孝（白根緑ヶ丘病院）

10:30~12:00 シンポジウム 1

「次世代認知症診療セッション」

座長：西野 憲史（医療法人ふらて会 西野病院）

木村 成志（大分大学医学部神経内科）

S1-1 実臨床における血液バイオマーカーを活用した
アルツハイマー病の診断ワークフロー構築

木村 成志（大分大学医学部神経内科）

S1-2 認知症予防と AI

大武 美保子（理化学研究所 革新知能統合研究センター）

S1-3 認知機能低下に対する、現在の治療、これからの治療

片山 禎夫（片山内科クリニック）

13:10~13:40 大会長講演

「認知症の早期発見と予防への取り組み～超高齢社会に必要なヘルスケア～」

座長：浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科認知症予防学講座）

演者：児玉 直樹（新潟医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線学科）

13:40~14:30 理事長講演

「認知症基本法の成立を受けて日本認知症予防学会が取り組むべき課題」

座長：鈴木 正彦（東京慈恵会医科大学 脳神経内科）

演者：浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科認知症予防学講座）

14:40~15:30 特別講演 1

「認知症ケアにおける多職種協働」

座長：児玉 直樹（新潟医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線学科）

演者：西澤 正豊（新潟医療福祉大学 学長）

座 長：島田 裕之（国立長寿医療研究センター 研究所
老年学・社会科学センター）

三森 康世（広島国際大学 総合リハビリテーション学部
リハビリテーション学科）

評価委員：藤野 孝雄（藤野循環器科内科医院）

01-1 地域高齢者における運動習慣定着の認知症予防効果検証

篠原 もえ子¹⁾、横山 邦彦²⁾、小松 潤史^{1,3)}、増田 和実⁴⁾、河野 光伸⁵⁾、吉田 光宏⁶⁾、
小野 賢二郎¹⁾

1)金沢大学 医薬保健研究域医学系 脳神経内科、2)公立松任石川中央病院 甲状腺診療科、
3)金沢大学 医薬保健学総合研究科 認知症先制医学、4)金沢大学 人間社会研究域、5)金城大学 医療健康学部、
6)国立病院機構 北陸病院 脳神経内科

01-2 地域在住高齢者のバランス機能と認知機能との関連について

大木 雅隆、中村 美砂、峰久 京子、武井 麻喜、今岡 真和、堺 景子、武田 雅俊
大阪河崎リハビリテーション大学 大学院 リハビリテーション研究科

01-3 認知症予防のための身体機能改善方法

菅原 利之
銀座TRUE

01-4 『ダンス療法 ハートフル・コグニダンス[®]』

～あなたの♥を動きで表現～仲間の♥を元気に 多種職だからできる！

利根川 久女紅¹⁾、五月女 美幸¹⁾、尾崎 仁美¹⁾、堀 愼二²⁾、利根川 浩一¹⁾、小川 八重子¹⁾、
助信 奈穂子¹⁾、富永 典子³⁾、上野 豊治³⁾、久波 真知子³⁾、阿部 康二⁴⁾

1)利根川Kスタジオ、2)S&Hpro、3)(株)JWI、4)国立精神・神経医療研究センター

01-5 「ダンス療法」継続による認知症予防効果の有効性の検討

五月女 美幸¹⁾、利根川 久女紅¹⁾、尾崎 仁美¹⁾、堀 愼二²⁾、利根川 浩一¹⁾、小川 八重子¹⁾、
助信 奈穂子¹⁾、富永 典子³⁾、上野 豊治³⁾、久波 真知子³⁾、阿部 康二⁴⁾

1)利根川Kスタジオ、2)S&Hpro、3)(株)JWI、4)国立精神・神経医療研究センター

01-6 もの忘れ外来を受診した地域高齢住民における認知機能と運動機能に関する検討

塩田 智^{1,2)}、拾尾 和彦²⁾、杉江 和馬¹⁾

1)奈良県立医科大学 脳神経内科、2)宇陀市立病院 脳神経内科

01-7 非薬物療法による多因子介入が認知機能に与える影響—デジタルデバイスによる評価：ランダム化比較試験（J-MINT PRIME Tamba）—

沖 侑太郎¹⁾、尾崎 遠見²⁾、熊谷 諒子¹⁾、村田 峻輔³⁾、円丁 春陽¹⁾、安田 尚史¹⁾、小野 玲^{1,4)}、
古和 久朋¹⁾

1)神戸大学 大学院 保健学研究科、2)神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 作業療法学科、
3)国立循環器病研究センター 研究所 予防医学・疫学情報部、4)国立健康・栄養研究所 身体活動研究部

01-8 介護老人保健施設での集団体操における多職種連携

～協働による対象者の参加意欲向上と習慣化を目指して～

雫 裕子、内田 泰史、北川 純平、山中 康太、西村 彩、國本 大介
医療法人 恕泉会 介護老人保健施設 ピアハウス高知

01-9 地域在住高齢者を対象とした多因子介入による認知症予防プログラムの実現可能性の検討

黒田 佑次郎¹⁾、藤田 康介¹⁾、内田 一彰¹⁾、杉本 大貴¹⁾、横山 陽子¹⁾、大村 早絵子¹⁾、
藤井 芙美¹⁾、齋藤 順子²⁾、島津 太一²⁾、櫻井 孝¹⁾

1)国立長寿医療研究センター 予防科学研究部、2)国立がん研究センター 行動科学研究部

01-10 認知症予防における課題～地域の人々をどのように認知症診療につなげるか～

久徳 弓子、三原 雅史
川崎医科大学神経内科学

17:30~19:00 シンポジウム 5
 「認知症予防専門医に求められる MCI 診療」
 座長：池田 佳生（群馬大学大学院医学系研究科 脳神経内科学）
 佐治 直樹（国立長寿医療研究センター もの忘れセンター）

- S5-1 MCI とは
 太田 康之（山形大学 大学院医学系研究科 内科学第三講座 神経学分野）
- S5-2 MCI 診療における画像検査およびバイオマーカー
 木村 成志（大分大学医学部神経内科）
- S5-3 MCI の非薬物療法～J-MINT 研究のエビデンス～
 櫻井 孝（国立長寿医療研究センター）
- S5-4 認知症予防専門医に求められる MCI 診断後支援
 浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科認知症予防学講座）

第 2 会場 4F 国際会議室

9:30~10:20 教育講演 2
 「フレイル・サルコペニア高齢者に対する運動介入の current topics」
 座長：櫻井 孝（国立長寿医療研究センター）
 演者：井上 達朗（新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科）

- 10:30~12:00 シンポジウム 2
 「認知症予防におけるリハビリ専門職の役割」
 座長：児玉 直樹（新潟医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線学科）
 佐藤 厚（愛知淑徳大学 健康医療科学部 言語聴覚学専攻）
- S2-1 理学療法士による認知症予防へのアプローチ
 土井 剛彦（国立長寿医療研究センター 研究所 老年学・社会科学研究センター
 予防老年学研究部）
- S2-2 認知症の人々の“予防”を考える—作業療法（士）の役割—
 小林 毅（日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科
 作業療法学専攻）
- S2-3 認知症予防における言語聴覚士の取り組みと可能性
 市川 勝（北里大学 医療衛生学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻）

12:10~13:00 ランチョンセミナー 1
 「認知症の一次予防から三次予防までを支える仕組み」
 座長：内門 大丈（医療法人社団彰耀会 メモリーケアクリニック湘南）
 演者：浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科認知症予防学講座）
 共催：株式会社太陽生命少子高齢社会研究所

15:40~17:20

口演 2 「認知症の多職種協働と育成」

座長：中道 淳子（石川県立看護大学）

原田 俊英（県立広島大学名誉教授/県立広島大学大学院総合学術研究科
保健福祉学専攻（脳神経内科学）/広島都市学園大学）

評価委員：豊田 正博（兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科）

- O2-1 多職種連携による認知症予防の仕組みづくり～暮らしの保健室での活動経験から～
山川 直樹、下山 直登
医療法人 好縁会 下山記念クリニック
- O2-2 記憶障害から BPSD が出現している入院患者へのアプローチ
ーメモリーノートを用いての統一的対応ー
森永 ゆりこ、吉川 由起、涌谷 陽介
社会医療法人 全仁会 倉敷平成病院
- O2-3 被害妄想を呈し、転倒を繰り返した事例に対し、
多職種協働による介入が奏功した一例について
木村 圭佑
旭川赤十字病院
- O2-4 郵送調査未返送者で介護保険サービス未利用の要介護認定者への
訪問調査と多職種協働～認知症等高齢者の困難事例化予防にむけて～
杉山 美香、稲垣 宏樹、井藤 佳恵、栗田 圭一
東京都健康長寿医療センター研究所
- O2-5 認知症患者の生活環境への多職種介入の事例報告
大川 元久¹⁾、櫛田 隆太郎²⁾、鎌田 昌樹²⁾、大賀 正司³⁾、西山 武²⁾
1)倉敷芸術科学大学 生命科学部 健康科学科、2)プライムホスピタル玉島、3)倉敷市玉島東高齢者支援センター
- O2-6 地域包括ケアシステムにおける認知症疾患医療センターの存在価値とは
～多職種協働でみえてきた地域連携の在り方～
日和田 正俊、井手 芳彦、福田 隆浩、松尾 七美紀、北島 春菜
社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院 認知症疾患医療センター
- O2-7 認知症診療における医療相談員（MSW）の役割
辻 正純、水村 恒雄、松崎 由美
辻内科循環器科歯科クリニック 内科
- O2-8 当院での認知症予防活動の取り組みについて
武嶋 佑果¹⁾、吉成 佐代¹⁾、内田 泰史²⁾
1)医療法人 恕泉会 内田脳神経外科 検査科、2)医療法人 恕泉会 内田脳神経外科
- O2-9 孤発性クロイツフェルト・ヤコブ病の症状の変化に応じた看護アプローチの 1 事例
山本 智美¹⁾、田中 英利子¹⁾、井野川 睦美¹⁾、小松 絵美¹⁾、出口 美穂¹⁾、久徳 弓子²⁾
1)川崎医科大学附属病院 脳神経センター病棟、2)川崎医科大学附属病院 脳神経内科
- O2-10 医療系大学生の認知症に対する意識について
片山 雅史
純真学園大学 保健医療学部 検査科学科

17:30~19:00

シンポジウム 6

「最新の ICT 技術を用いた新しい音楽療法」

座長：児玉 直樹（新潟医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線学科）

- S6-1 最新の ICT 技術を用いた新しい音楽療法
小杉 尚子（専修大学ネットワーク情報学部）
- S6-2 日本の最南端沖縄県石垣島での遠隔音楽療法の先駆的な取り組みに参加して
當山 房子（(有)福祉ネットワーク・やえやま）

- S6-3 デイサービスにおける遠隔音楽療法導入による
利用者・職員の好反応と今後への期待
管谷 由紀子（医療法人社団 翔洋会 脳リハビリデイサービス大泉学園はなみずき）
- S6-4 遠隔音楽療法（RMT）を身近に活用することで広がる世界
相川 直子（NAT 音楽療法事務所）

第3会場 3F 中会議室 301

- 9:30~10:20 教育講演3（ビデオ講演）
「サルコペニア・フレイルの視点からの認知症」
演者：小野寺 理（新潟大学脳研究所 臨床神経科学部門 脳神経内科学分野）
- 10:30~12:00 シンポジウム3
「認知症予防のための基礎研究」
座長：佐原 成彦（量子科学技術研究開発機構 量子医学研究所
脳機能イメージング研究部）
小野 賢二郎（金沢大学医薬保健研究域医学系 脳神経内科学）
- S3-1 アルツハイマー病治療戦略のフロントライン：アミロイド β 抗体療法
小野 賢二郎（金沢大学医薬保健研究域医学系 脳神経内科学）
- S3-2 毒性アミロイド β の立体構造に立脚した抗体開発
景山 裕介（滋賀医科大学医学部附属病院 医師臨床教育センター）
- S3-3 神経変性疾患の分子病態に基づいた診断・予防薬開発
石垣 診祐（滋賀医科大学 神経難病研究センター）
- S3-4 タウを標的とした診断・治療に資する新規モデルマウスの作出
矢内 凜（量子科学技術研究開発機構 量子医学・医療部門 放射線医学総合研究所
脳機能イメージング研究部）
- 12:10~13:00 ランチョンセミナー2
「認知症予防を目指した多因子介入研究（J-MINT）の成果と今後の展望」
座長：荒井 秀典（国立長寿医療研究センター）
演者：櫻井 孝（国立長寿医療研究センター）
共催：SOMPO ホールディングス株式会社
- 15:40~17:20 口演3 「認知症の共生社会・まちづくり」
座長：須藤 慎治（国立病院機構宇多野病院 脳神経内科）
八森 淳（医療法人MoLead つながるクリニック）
評価委員：佐野 英孝（白根緑ヶ丘病院）
- O3-1 軽度認知障害（MCI）の本人と家族がともに歩むことの支援とは
齋藤 望¹⁾、川瀬 裕士²⁾
1)医療法人社団 川瀬神経内科クリニック リハビリ科、2)医療法人社団 川瀬神経内科クリニック

- 03-2 軽度認知障害およびアルツハイマー型認知症者における
リハビリテーションプログラム施行時の感情推定に関する探索的検討
神谷 正樹¹⁾、大沢 愛子¹⁾、大高 恵莉²⁾、加藤 健治³⁾、吉見 立也³⁾、植田 郁恵¹⁾、加賀谷 齊¹⁾、
近藤 和泉⁴⁾
1)国立長寿医療研究センター リハビリテーション科部、
2)国立長寿医療研究センター 健康長寿支援ロボットセンター 健康長寿テクノロジー応用研究室、
3)国立長寿医療研究センター 健康長寿支援ロボットセンター ロボット臨床評価研究室、4)国立長寿医療研究センター
- 03-3 独居の認知症高齢者に対して通所リハビリテーションが担う役割
～認知症短期集中リハビリテーションと社会参加～
濱村 愛海¹⁾、中里 拓也¹⁾、山岸 望¹⁾、滝沢 綾子¹⁾、荒川 千晶²⁾
1)医療法人社団 礼恵会 むすび葉通所リハビリテーション、2)医療法人社団 礼恵会 むすび葉クリニック渋谷
- 03-4 認知症の人が地域貢献活動を行うワーキングデイサービスの参加状況と
実践を通じて考える
稲田 秀樹、楠 順子、山岡 治子
株式会社さくらコミュニティーケアサービス
- 03-5 デイサービスにおける口腔・嚥下機能障害へのアプローチ
～注意障害がある方への認知症ケアとしての取り組み
管谷 由紀子¹⁾、丸山 ゆかり¹⁾、加藤 靖智¹⁾、島田 恵子¹⁾、辻 正純²⁾、小倉 英剛³⁾
1)医療法人社団 翔洋会 脳リハビリデイサービス大泉学園はなみずき、
2)医療法人社団 翔洋会 辻内科循環器科歯科クリニック、3)医療法人社団 翔洋会 介護老人保健施設大泉学園ふきのとう
- 03-6 認知症高齢者の QOL を考える
津波 晶子¹⁾、當山 房子¹⁾、坪之内 景子²⁾
1)(有) 福祉ネットワーク・やえやま グループホームあかゆら、2)あかゆら小規模多機能型居宅介護支援事業所
- 03-7 骨折後リハビリテーションの種類により高齢者の脳活動はどのような差が生じるか
三ツ星 紀子¹⁾、持田 茂¹⁾、森本 兼人¹⁾、浦上 克哉²⁾
1)医療法人 友絨会 皆生温泉病院、2)鳥取大学 医学部 保健学科 認知症予防学講座
- 03-8 「共生と予防のまちづくりを」を目指し、地域で支援者をつくる
「認知症サポーター実践講座」を取り組んで
伊藤 米美¹⁾、右京 幸雄¹⁾、プラトリー ミチコ²⁾、川尻 紀子³⁾、三木 美恵子⁴⁾、新原 耕治⁵⁾、
丸尾 智実⁶⁾、大瓦 直子⁶⁾、龍野 洋慶⁷⁾
1)認定NPO法人認知症予防ネット神戸、2)無償ボランティア団体 柳鶴会、3)灘区 自治会、4)東神戸医療互助組合、
5)兵庫県高齢者生活協同組合、6)神戸市看護大学、7)神戸大学医学部保健学研究科
- 03-9 地域住民による認知症予防活動の再開に向けた課題
保母 恵
国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 看護学科
- 03-10 高齢者が楽しく参加できる地域サロンとしての「おもちゃの広場」の開催
磯 忍、高山 陽子
芸術と遊び創造協会 高齢者アクティビティ開発センター
- 17:30～19:00 シンポジウム 7
「薬剤師が多職種連携による認知症予防に関わる意義」
座長：有澤 賢二（公益社団法人 日本薬剤師会）
- S7-1 薬剤師が取り組むべき認知症予防における実情と課題
山田 武志（公益社団法人 日本薬剤師会）
- S7-2 多職種連携における実際の取り組み
宮野 廣美（一般社団法人 埼玉県薬剤師会）
- S7-3 介護支援専門員が期待する認知症予防への薬剤師の関わり
木曾 江律子（有限会社 とらいあぐる）
- S7-4 在宅での薬剤管理にかかわる多職種と薬剤師との連携
飯田 康江（医療法人ふらて会 在宅支援センター）

9:30~10:20 教育講演 4

「アクティビティ・ケアの事例から考える認知症予防」

座長：當山 房子（(有)福祉ネットワーク・やえやま）

演者：磯 忍（芸術と遊び創造協会 高齢者アクティビティ開発センター）

10:30~12:00 シンポジウム 4

「臨床検査技師の認知症予防への新たな躍動

～認知症予防専門臨床検査技師の新設～」

座長：河月 稔（鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座）

宮原 祥子（伊那中央病院）

S4-1 認知症予防への新たなステップ—認知症予防専門臨床検査技師の新設

高村 好実（(一社)日本予防医療推進機構）

S4-2 認知症予防専門臨床検査技師に認知症予防の中で期待すること

浦上 克哉（鳥取大学医学部保健学科認知症予防学講座）

S4-3 認知症予防に関する臨床検査技師の活動事例の創出に向けて

現在の日臨技 認定認知症領域検査技師制度での活動

松熊 美千代（社会福祉法人 三井記念病院 臨床検査部）

12:10~13:00 ランチョンセミナー 3

「認知症に関する先進的なヘルスケアサービスの提供を通じて、社会との共通価値を創造し地域社会に貢献」

座長：小野 賢二郎（金沢大学医薬保健研究域医学系 脳神経内科学）

1 認知症予防フレンド養成講座および介護セミナーの展開と社会への貢献

児玉 直樹（新潟医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線学科）

2 認知症に関する先進的なヘルスケアサービスの提供を通じて、社会との共通価値を創造し地域社会に貢献

鬼頭 哲也（三井住友海上あいおい生命保険株式会社 デジタルイノベーション部
ヘルスケア推進グループ）

共催：三井住友海上あいおい生命保険株式会社

15:40~17:20 口演 4 「認知症の診断 1」

座長：菱川 望（倉敷平成病院 脳神経内科）

涌谷 陽介（倉敷平成病院 脳神経内科・認知症疾患医療センター）

評価委員：内門 大丈（医療法人社団彰耀会 メモリーケアクリニック湘南）

O4-1 アルコール多飲により転倒し、右大腿骨頸部骨折（THA）術後

アルコール離脱せん妄が発現し、生命危機に陥り ICU 管理となった MCI 症例

安藤 研介

岡山赤十字病院 リハビリテーション科

- 04-2 軽度認知障害に対するコンピューターを活用した認知トレーニングの
バイオマーカーへの影響：a scoping review
林 博史¹⁾、曾根 稔雅¹⁾、五百川 和明¹⁾、澄川 幸志¹⁾、藤田 貴昭¹⁾、川又 寛徳¹⁾、浅尾 章彦¹⁾、
川崎 伊織¹⁾、小笠原 牧¹⁾、川勝 忍²⁾
1) 福島県立医科大学 保健科学部 作業療法学科、2) 福島県立医科大学 会津医療センター 精神医学講座
- 04-3 もの忘れ外来初診時から継続する支援～若年性認知症患者の事例を通して～
大川内 真甫¹⁾、金島 由佳¹⁾、久徳 弓子²⁾、三原 雅史²⁾
1) 川崎医科大学附属病院 患者診療支援センター、2) 川崎医科大学 神経内科学
- 04-4 アルツハイマー型認知症の悪化に関与する糖尿病の影響について
中瀬 泰然、富田 尚希、館脇 康子、高野 由美、村中 美千帆、瀧 靖之
東北大学加齢医学研究所臨床加齢医学研究分野
- 04-5 患者由来の培養皮膚線維芽細胞を用いたアルツハイマー病バイオマーカーの
有用性～とくに混合型認知症において～
小西 吉裕^{1,2)}、Florin Chirila³⁾、Guang Xu³⁾、Dan Fontaine³⁾、Grant Kern³⁾、Tapan Khan³⁾、
Jason Brandt⁴⁾、Gerhard Nebe-von-Caron⁵⁾、Charles White⁶⁾、Daniel Alkon³⁾
1) 姫路中央病院 認知症疾患医療センター、2) 国立病院機構鳥取医療センター 臨床研究部、3) Syn-
aps Dx, Rockville, MD, USA、4) Johns Hopkins Hospital Psychiatry, Baltimore, MD, USA、5) Mologic, Bedfordshire, UK、
6) Department of Pathology, University of Texas Southwestern Medical Center, Dallas, TX, USA
- 04-6 日本人集団で見つかったレビー小体型認知症に関連する MFSD3 多型の機能解析
木村 哲晃¹⁾、菅沼 睦美¹⁾、澤村 嘉代子¹⁾、細山 徹³⁾、下田 修義¹⁾、小木曾 昇²⁾、新飯田 俊平²⁾、
尾崎 浩一^{1,4)}、重水 大智^{1,4)}
1) 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター メディカルゲノムセンター、
2) 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 研究推進基盤センター、
3) 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター ジェロサイエンス研究センター、
4) 国立研究開発法人 理化学研究所 生命医学研究センター
- 04-7 若年者と高齢者における睡眠と脳活動
武田 祥也、古田 万奈、丹羽 晴香、山本 奈々、野田 明子
中部大学大学院 生命健康科学研究科 生命医学専攻
- 04-8 地域在住高齢者における身体機能と認知機能との関連について
＜～教育歴による差異～＞
倉津 諒大¹⁾、赤井田 将真¹⁾、立石 麻奈²⁾、白土 大成¹⁾、木内 悠人¹⁾、愛下 由香里¹⁾、大石 充³⁾、
窪田 琢郎³⁾、竹中 俊宏⁴⁾、牧迫 飛雄馬²⁾
1) 鹿児島大学大学院 保健学研究科、2) 鹿児島大学 医学部 保健学科、3) 鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科、
4) 垂水市立医療センター垂水中央病院
- 04-9 市町村職員における認知症予防に資する取組・事業の把握状況
～人口規模や事業担当部署、連携状況が及ぼす影響～
進藤 由美、斎藤 民、野口 泰司、鷺見 幸彦
国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
- 04-10 認知症の「予防」からみた認知症初期集中支援チームのあり方を考える
和泉 紀彦¹⁾、豊田 千純子¹⁾、赤畑 正樹²⁾、稲葉 敏³⁾、塩田 具子¹⁾、和泉 武彦¹⁾
1) いずみホームケアクリニック 認知症疾患医療センター、2) 細田診療所、3) いなば内科クリニック

第5会場 2F 中会議室 201

- 14:00～14:50 ダンスプログラム
「ダンス療法『ハートフル・コグニダンス®』」
講師：利根川 久女紅（利根川 K スタジオ/日本リンパピクス協会）

15:40~17:00 ポスター 1 「認知症疾患と予防」

座長：高橋 純子（北上済生会病院）
評価委員：西野 恵子（社会福祉法人ふらて福祉会）

P1-1 軽度認知障害の認知機能に影響する環境要因や身体活動量の経時的変化—潜在曲線モデルを用いた比較検討

籾脇 健司¹⁾、田中 康平²⁾、坂井 仁哉³⁾、中村Tomas 裕美⁴⁾
1)東北福祉大学 健康科学部 リハビリテーション学科、2)訪問看護ステーション悠、3)そうしんクリニック茶屋町、4)埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科

P1-2 脳神経内科もの忘れ外来における軽度認知障害の受診状況

川井 元晴、高橋 志織、加藤 幹元、橋口 英志、中島 夏希、神田 隆
脳神経筋センターよしみず病院

P1-3 オートファジー関連蛋白 ATG9A とタウ蛋白の関連についての検討

笠原 浩生、牧岡 幸樹、池田 佳生
群馬大学大学院 医学系研究科 脳神経内科学

P1-4 視神経脊髄炎スペクトラム障害患者の CogEval による脳機能評価と脳 MRI での萎縮の関連について

武久 康¹⁾、川口 洋子¹⁾、宇都宮 春佳²⁾、西村 真帆²⁾、小川 さおり²⁾、都能 和俊³⁾
1)岡山赤十字病院 脳神経内科、2)岡山赤十字病院 リハビリテーション科、3)岡山赤十字病院 放射線科

P1-5 演題取り下げ

P1-6 軽度認知障害高齢者の居場所づくりを目的とした認知症予防プログラムの試み

兼田 絵美¹⁾、上城 憲司²⁾
1)東京医療保健大学 和歌山看護学部 看護学科、2)宝塚医療大学

P1-7 地域で生活する高齢者のフレイル予防への関心

木宮 高代
福山平成大学 看護学部 看護学科

P1-8 嗅覚検査データと下位項目を含む認知機能検査データの関連性検討

佐藤 守一¹⁾、今枝 孝夫¹⁾、麦倉 俊司²⁾、森 菜緒子²⁾、高梨 昌樹¹⁾、早川 和美¹⁾、長神 風二²⁾、布施 昇男²⁾、荻島 創一²⁾、中村 智洋²⁾、齊藤 智²⁾、栗山 進一²⁾、寶澤 篤²⁾
1)株式会社 豊田中央研究所 バイオインスパイアードシステム研究領域、2)東北大学 東北メディカル・メガバンク機構

17:00~18:00 ポスター 2 「認知症ケアおよび多職種協働」

座長：瀧澤 俊也（神奈川リハビリテーション病院 脳神経センター）
評価委員：櫻井 典子（新潟医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線学科）

P2-1 軽度の認知機能障害を持つ高齢者とのコミュニケーションにおいて病棟看護師が意識している内容

山崎 未祥¹⁾、中道 淳子²⁾
1)金沢大学附属病院 看護部、2)石川県立看護大学

P2-2 要支援サービス利用者の重度化の要因—男女別の手段的日常生活動作の観点から—

西田 隆宏¹⁵⁾、井手 芳彦²⁾、福田 健一郎³⁾、本田 歩美⁴⁵⁾、本田 純久³⁾
1)佐世保市吉井地域包括支援センター、2)佐世保中央病院認知症疾患医療センター、3)真珠園療養所、4)聖マリア学院大学看護学部、5)長崎大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生看護学

P2-3 認知症カフェとの連携にて受診に至った認知症初期集中支援チーム介入事例

中山 寛人¹⁾、松永 尚治²⁾
1)医療法人水の木会 下関病院、2)医療法人松永会 まつなが医院

P2-4 多職種別での身体拘束に対する意識調査

田中 久絵
医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院 看護部

P2-5 当科もの忘れ外来における認知症看護認定看護師の役割と重要性

鵜飼 克行^{1,2)}
1) 総合上飯田第一病院 老年精神科、2) 名古屋大学大学院 医学系研究科 精神医学分野

P2-6 地域在住高齢者の閉じこもりと空間認知能力の関連性について
～時計描写テストを用いた検討～

谷口 圭佑¹⁾、坂本 晴美¹⁾、巻 直樹¹⁾、犬田 和成²⁾、野村 聖子¹⁾、石上 聖子¹⁾、久保田 智洋¹⁾、
柳 久子¹⁾、呉 世禎¹⁾
1) アール医療専門職大学 リハビリテーション学部、2) アール医療福祉専門学校 理学療法学科